

## 議会レポート 限られた財源を活かすための事業仕分けへ。

「事業仕分け」のスタートは、地方自治体です。

昨年来、何かと話題になり、大きな関心を集めている「事業仕分け」。もともと民主党政権の専売特許でも何でもなく、地方自治体での取り組みが始まりです。2002年から三重県などを皮切りに実施され、大きな成果を挙げている自治体もあります。また、京都府や横浜市では、議会主導で行われています。

事業仕分けは、本来、予算の削減が主目的ではありません。行政の事業を、抽象論ではなく現場の視点で洗い直すことによって、個々の事業の無駄にとどまらず、その事業の背後にある制度(施策)などの改革に結び付けていくことが目的です。そのために、予算項目(事務事業)ごとに、そもそも必要かどうか、必要ならばどこがやるのか(官か民か、国か地方か)について、議論して仕分けていく作業が、事業仕分けなのです。

江東区では、これまでも、施策から事務事業までを目的一手段の関係で捉え、評価を実施してきていますが、結果が分かりづらい点や内部評価に留

まっている点など、課題が明らかになってきました(平成21年二定の本会議質問でとりあげました。「じんのーと vol.16」ご参照)。

一方、事業仕分けにも、政策そのものの妥当性が判断できない、戦略的な投資の評価には適さないなど、課題はあります。それでも、現在の制度などは一旦脇に置き、「制度で決まっているから」や「長年やっているから」といった理由ではなく、事業の必要性や実施主体について、そもそも、から考えるという作業は必要です。

民主クラブでは、現在、こうした事業仕分け本来の趣旨に則った作業を、独自に進めています(これを「予算精査」と呼んでいます)。外部に公開するまでには至っていません\*が、区が行っている事業を一から見つめ直し、今後の予算要望、決算・予算審査に活かしていきます。

※) 本来の「事業仕分け」には、外部の視点と公開の場が欠かせません。その意味で、私たちの作業は、まだまだ発展途上です。

まとめ

**施策を「そもそも、から考え、」選択と集中、につなげる。限られた財源の使い道を、まかせっきりににはできません。**



活動日誌ブログ「じんの ゆずるのJinJinJin」より“ホントのトコロ”を少しだけご紹介します。

### ホントのトコロ 激しい議論はどこに!?

今朝の新聞とかにも書かれていたけど、日々、多くの方から国会のヤジに関して批判をいただく。今日の施政方針演説も含めて、生で見る時間はほとんどとれないけど、ニュースで見ても確かにひどいよね。あれほどではないにしても、区議会の本会議などでもヤジが飛んだりする。その

度に、子どもの頃国会中継を見て、「学級会より態度が悪い」と思ったことを思い出している。改めて言うのも情けないけど、今の子どもたちがどう感じるか、考える必要はないのか。

2010/1/29 記事より

活動日誌ブログ

じんの ゆずるのJin Jin Jin

甚野ゆずるの“ホントのトコロ”を公開中!!



ホームページ

www.jinjinjin.jp

※携帯電話からはQRコードを読み取ってご覧ください。



甚野ゆずる 事務所 〒136-0072 東京都江東区大島 7-12-1-301 TEL/FAX:03-5609-5792 E-mail:mail@jinjinjin.jp

甚野ゆずるは、これからも、**地域密着**でいきます。政策面や議会に関する素朴な質問などなど、皆さんの声を気軽にお聞かせください。